

学校だより

第10号

R8年2月20日発行

# しもはら

文責

校長：森山 泉恵



立春を迎え、暦の上では春となりましたが、まだまだ冷たい空気の残る季節となりました。そうした中、長らく立ち入りを制限していた本校敷地内の自然豊かな林地帯「錦が丘」が、このたび安全対策の整備を終え、解禁となりました。近年の老木化に伴い落木の危険から入ることができませんでしたが、危険な木や枝を丁寧に伐採したことで、安全に利用できる環境が整いました。6年生にとっては、小学校生活の締めくくりにあたり、思い出深いこの場所で最後のひと時を過ごせるようになり、大変嬉しく思っています。

## 主体性発揮！良い歯のメダル表彰

1月27日、保健給食委員会が「良い歯のメダル表彰」を行いました。児童自身が心を込めて手づくりしたメダルを用いて、良い歯の児童を表彰しました。メダルを受け取った児童は、どの子も誇らしげな表情を見せていました。学年を問わず、日頃の歯みがき習慣や生活の積み重ねがしっかりと成果につながったようです。今回の表彰は、子どもたちが主体的に企画し、学校の健康づくりに貢献しようとする貴重な活動であり、とても価値のあるものとなりました。



良い歯の子が増えるといいなと思ってメダルを作りました。1年生に良い歯の子が多くて驚きました。すごいことだと思います。

(委員長の6年 徳原莉妃愛さん)



## 力量発揮！清掃ボランティアさん

1月28日の清掃時には、地域の清掃ボランティアの皆さんが来てくださり、子どもたちと一緒に校内の清掃を行いました。子どもたちは、いつものように協力しながら一生懸命に掃除を進めましたが、ボランティアさんがほうきや雑巾を手にする時、たちまち床や窓が見違えるほどぴかぴかに。その見事な手際の良さに、子どもたちは「すごい！」「どうしたらそんなにきれいになるの？」と驚きの声を上げていました。



地域の皆さんから清掃のコツや丁寧に取り組む姿を学ぶことができ、子どもたちにとっても貴重な時間となりました。ボランティアの皆さん、本当にありがとうございました。

## 2泊3日の臨海自然教室～5年生～

2月2日から4日にかけて、5年生は大洗の臨海自然教室に出かけました。3日間の活動では、塩づくりやナイトハイクなど、臨海ならではの体験に挑戦しました。慣れない作業にも協力しながら取り組み、楽しさの中にも多くの学びがありました。また、活動を重ねるごとに、友達同士の声かけや役割分担が自然とできるようになり、集団としてのまとまりがどんどん深まっていきました。3日間の生活を通して、一人一人が責任をもって行動する姿や、お互いを支え合う姿が随所に見られ、心身ともに大きく成長したことを感じます。今回の経験は、これからの学校生活にもきっと生かされていくことでしょう。



## 親子で食育、親子で給食～6年生～

2月3日、6年生が栄養教諭の先生から献立づくりについて学習し、食材の組み合わせや栄養のバランスを考えながら、親子で理想の献立を考える活動を行いました。「こんな献立がいいね」「これも入れたいね」と、親子で相談しながら取り組む姿が印象的でした。学習の後は、親子そろって給食をいただきました。いつも食べている給食も、家の方と一緒に味わうことで、より特別



で温かい時間となりました。卒業まで残りわずかとなった6年生。今回の活動は、親子で一緒に過ごす最後の学校行事の一つとして、心に残る思い出になったことでしょう。

### 【編集後記】

ある日の校長室に、5年生の代表児童が「学習環境の向上に向けたシャープペンシル使用許可の提案」を届けに来てくれました。瞳を輝かせながら「よろしくお願いします」と一生懸命に伝える姿がとても印象的でした。子どもたちの期待に、誠実に応えていきたいと思えます。

この取り組みの経過については、次号でお知らせします。お楽しみに。